

# Django Hack-a-thon Disc.8 ハンズオンA

## 事前にインストールしておくもの

- Python 2.5
- Django 1.0

## ゲストブックアプリを動かしてみよう

サンプルのゲストブックアプリケーションを動かしてみます。

### startproject

はじめに、アプリケーションを動作させるためのプロジェクトを作成します。

ターミナル(or コマンドプロンプト)から次のように入力します。

```
django-admin.py startproject プロジェクト名
```

プロジェクト名は半角英数で入力してください。ハイフンとアンダースコアは利用できます。

プロジェクト名とアプリケーションの名前が同じにならないように注意してください。

日本語を含むパスでは、うまく動作しないことがあります。

これで、プロジェクト名のディレクトリが作成されます。

インストールの仕方によっては django-admin.py が django-admin になっているかもしれません。

## プロジェクトの設定を行う

プロジェクト内の settings.py を編集します。編集項目は以下の通りです。

```
DATABASE_ENGINE = 'sqlite3' # データベースエンジンはSQLite3
DATABASE_NAME = 'data.db' # データベースファイル
TIME_ZONE = 'Asia/Tokyo' # タイムゾーンは東京
LANGUAGE_CODE = 'ja' # 言語は日本語
```

## アプリケーションを追加する

guestbook アプリケーションをプロジェクトのディレクトリにコピーします。続いて settings.py の INSTALLED\_APPS に guestbook を追加します。一緒に Django の管理アプリケーションもインストールしておきます。

```
INSTALLED_APPS = (
    'django.contrib.auth',
    'django.contrib.contenttypes',
    'django.contrib.sessions',
    'django.contrib.sites',
    'django.contrib.admin', # これを追加
    'guestbook', # これを追加
)
```

これでアプリケーションをプロジェクトに追加できました。

## アプリケーションのURLを有効にする

アプリケーションのURLを有効にするため、プロジェクト内の `urls.py` を編集します。 `urls.py` を次のように書き換えます。

```
from django.conf.urls.defaults import *

from django.contrib import admin
admin.autodiscover()

urlpatterns = patterns('',
    (r'^admin/(.*)', admin.site.root),
    (r'.*', include('guestbook.urls')),
)
```

## データベースへ反映させる

インストールしたアプリケーションのモデルをデータベースに反映させます。ターミナルで以下のコマンドを実行します。

```
python manage.py syncdb
```

管理ユーザの作成を聞かれた場合、作成しておいてください。

これでデータベースへの反映ができました。

## 開発用サーバを起動して動かしてみる

開発用サーバを起動するには、ターミナルで以下のコマンドを実行します。

```
python manage.py runserver
```

デフォルトでは `127.0.0.1:8000` で起動されます。

Webブラウザから、 <http://127.0.0.1:8000/> へアクセスするとゲストブックアプリケーションを利用できます。

管理画面は <http://127.0.0.1:8000/admin/> でアクセスできます。